



吉原

舞鶴市立吉原小学校
学校だより
1月号
令和6年1月10日



新春を迎えて～決意を新たに～

新年おめでとうございます。保護者、地域の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

本年も子どもたちの健やかな成長に向け、教職員一同精一杯努めますので、これまでと相変わりませず温かいご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

このたび石川県能登地方を震源とする大規模な地震により、犠牲となられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

また、京都府にも津波注意報が、沿岸部には避難指示も発表され、地域の皆様方におかれましても、ご心配だったことと思います。平穏な日が一日も早く戻るよう切に祈っています。



朝日に映える伊佐津川河口

今年は、十干（じっかん）十二支（じゅうにし）でいうと「甲辰（きのえたつ）」にあたります。「甲（きのえ）」は十干の一番目の文字で、物事の「はじまり」を象徴し、十二支の「辰（たつ）」は万物が成長して動きが盛んになる象徴とされているそうです。つまり2024年は、「物事のはじまり」と「大きな成長」の年と言えそうです。

さて、3学期がスタートしました。3学期の登校日は50日（6年生は49日）です。「1月は行く。2月は逃げる。3月は去る。」といわれるように、この時期はあっという間に過ぎてしまう感覚があります。期間の短い学期ではありますが、学年を締めくくる大切な学

期であると同時に、次の学年への進級や中学校進学に向けて準備し、新しい挑戦を始める学期でもあります。新年を迎え決意を新たに、1・2学期に身に付けた力をもとに、一人一人が自分の成長を実感し、自信を持って進級・進学できるよう指導していきたくと思っています。



始業式では、次のことを問いかけてみました。

- あいさつが気持ちよくできているか。
- 感謝（ありがとう）の気持ちを持つことができているか。
- 自分たちで考え、協力し合って活動できているか。
- 一人一人が自分の目標を持って毎日生活ができているか。



これは、「夢」に向かい、根気強く努力する吉原っ子の目標を実現するための基盤となる、毎日の過ごし方につながるものだと考えています。

一つ一つの小さな日々の積み重ねが子どもたちの成長と幸せにつながると信じ、教育活動の充実に取り組んでいきます。

保護者の皆様には子どもたちの健康管理と心の支えを、地域の皆様には、登下校の見守り等、安全面で引き続きお世話になります。

今学期も皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

校長 青木 信次
教職員 一同

